

遠隔での映像確認で、点在する栽培ハウスの農産物の状況確認と、高齢の従業員の安全管理を効率化



奥出雲椎茸株式会社 様

導入時期：2024年12月
導入地域：島根県

課題

20棟近い栽培ハウスが広い地域に点在しているため、ハウスごとの農作物や従業員の状況確認が困難。

解決策

遠隔から映像を確認できるCameleoで、管理担当者が栽培ハウス内外の様子をいつでも確認できるようになり、効率的な管理を実現。

他業務との兼務で忙しい担当者が、複数の栽培ハウスの農作物の状況や安全面を遠隔で効率的に確認できるため、管理者の視点でも従業員の視点でも良い環境を構築できています。

奥出雲椎茸株式会社
営業課 課長 兼 集出荷センター 所長
栗川 亨 様

※所属は取材時のものです。

背景

農産物の盗難と高齢従業員の安全管理に懸念

奥出雲椎茸様は菌床椎茸の栽培を、ホダ木のもととなるオガコの生成から、菌床ホダ木の生産、ハウスでの栽培・収穫まで一貫通貫で自社内で行われています。栽培ハウスはかつて個人で椎茸を栽培していた農家から引き継いだため広い地域に点在しており、最も遠い場所では15kmほど離れています。近年、農作物の盗難被害が増加する中、防犯対策の必要性が高まっていたことに加え、従業員の多くが65歳から80歳の高齢層のため、栽培ハウスで1人作業を行う際の安全管理が課題となっていました。

導入した理由

別業務との兼務で多忙な管理者が、遠隔で効率的に複数の栽培ハウスの状況を確認できるクラウドカメラ映像

これまでセキュリティカメラは未導入でしたが、上記の課題に対し設置や保守を担当するグループ会社からの提案もあり、導入を検討。一方で、管理担当者は管理業務だけでなく、営業や栽培業務も兼務しているため、効率的に映像を確認できるカメラシステムが必要でした。

このような状況で、「管理担当者が他業務の合間に遠隔で効率的に映像を確認できる点」と「設備担当のグループ会社の保守業務の負担が少ない点」からクラウド型のカメラサービスを検討され、『現場映像活用サービス Cameleo』をセキュリティカメラと合わせて導入されました。

ホダ木製造から収穫まで、奥出雲町で一貫通貫ブランド椎茸『雲太-1号』を栽培

奥出雲椎茸様では国内の広葉樹を使い、ホダ木製造から収穫までを一貫して奥出雲町で行うなど、原産地（植菌）も収穫地も「島根県奥出雲町産」の安心安全な椎茸を栽培・販売されています。その最高級ブランドである『雲太-1号』は、平成30年に品種登録が認められ、島根県でキノコ類では初となるブランド椎茸となりました。かさの直径が8～10cmで重さも60～100gと、通常の椎茸に比べ約3倍の大きさ。肉厚で菌ごたえが良く、格別の風味と旨味が強いのが特長です。

- 所在地 島根県仁多郡奥出雲町三沢98-3
- URL <https://oishiitake.com/>



▲ 奥出雲椎茸株式会社様のブランド椎茸『雲太-1号』栽培の様子

現場映像活用サービス Cameleo



▲ 複数台のカメラ映像も1画面でまとめて確認



▲ 栽培ハウス内のコンパクトドームカメラは従業員の安全管理に使用

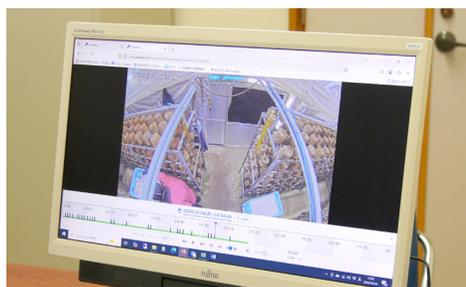


▲ 屋外PTZカメラでは複数棟並ぶ栽培ハウスの状況や車の出入りを確認

導入後の効果

動体検知で、従業員の安全管理業務を効率化

「普段は別業務をしているため、モニタリングよりも録画映像の確認が中心となります。Cameleoはクラウドに録画された映像を見られるだけでなく、動体検知により動きがあった場面を通知してくれたり・早送り確認できたりと、確認作業が効率的にできるので助かっています。動きがあった箇所については、高齢の従業員が転倒したり体調不良を起こしていないかを確認しています。今後は人手不足で外国人労働者を雇うことも考えられますし、このようにきちんとした管理体制を整えることができて良かったと感じています。」
(営業課 課長 兼 集出荷センター 所長 栗川様)



▲ 動体検知により、動きがあった箇所を効率的に確認

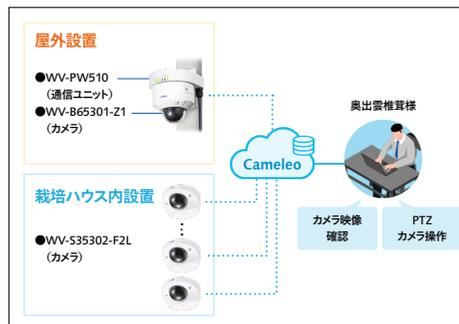
PTZ操作でカメラを動かし、積雪時の栽培ハウスの様子を確認

栽培ハウス外に設置した屋外PTZカメラについて、栗川様は「PTZ操作がCameleoでできるのも便利です。地域柄雪が多いのですが、大雪で栽培ハウスに損傷がないか・出入口は塞がれていないかなどをカメラを動かして確認できるので、除雪が必要であれば業者に依頼するか、従業員で対応できそうかの判断材料にもなり、このような面でも現場の安全管理に役立っています。」と話します。

保守・運用面での技術サポートが必要になった際も、遠隔で迅速に解決

追加設定や状態確認などの保守・運用サポートが必要な場合も、クラウドサービスならではのメリットがあると栗川様は話します。
「弊社の場合、このような設備の技術担当は遠方のグループ会社オフィスにいるため、サポートが必要な際もオンプレミスのシステムだとすぐには対応が難しいのですが、クラウドサービスであるCameleoなら、技術担当が遠隔で迅速に確認や対応ができるので助かっています。」

システムイメージ



お客様の声

ユーザーやカメラの拡充に加え、椎茸の生育状況の研究への映像活用にも期待

ユーザーやカメラの増加時に階層管理機能で柔軟に対応できるのもCameleoの特長。「今後は全ての栽培ハウスにカメラを追加していく予定です。現在は本社にある1台のパソコンで映像を確認していますが、今後は他の管理担当者にも閲覧権限を付与し、各自の業務用スマートフォン等で出先からでもCameleoを利用できる体制を構築したいです。」と栗川様は話します。
また椎茸の生育状況の研究にも映像を活用できるのではないかと期待されています。「菌床ホダ木が完熟するまで約100日かかりますが、椎茸は最後の収穫時に半日で大きくなり、このタイミングを逃さないようにすることが重要です。Cameleoで録画した映像を分析することで適切な収穫のタイミングを分析し、品質向上につなげられるのではと考えています。」
(営業課 課長 兼 集出荷センター 所長 栗川様)



奥出雲椎茸株式会社

営業課 課長 兼
集出荷センター 所長
栗川 亨 様

※所属は取材時のものです。

納入機器 (2025年4月時点)

現場映像活用サービス



お問い合わせはこちら

